

## 第1回(仮)宇治市未来につなぐ都市づくりプラン検討委員会 会議録

### <開催概要>

日時：令和4年11月29日（火） 午前10時から12時まで

場所：宇治市生涯学習センター 第2ホール

### <出席者>

会 長（本会で承認） 川池 健司

副会長（本会で承認） 大庭 哲治

委 員 多々納 裕一・杉本 一久・長谷川 理生也・大塚 賢太・井上 貴之

事務局 川口 龍雄（副市長）

小野 孝司（技監）・平野 裕之（理事）

久下 伸（都市整備部長）・米田 晃之（都市整備部副部長）

藤井 康博（都市計画課長）・中本 洋（都市計画課副課長 兼 まちづくり支援係長）

森田 宏紀（都市計画課都市計画係長）・甲斐 昌臣（都市計画課主査）

### <欠席者>

委 員 山本 直彦・奥西 隆三

### <傍聴者数>

3名

### <会議次第>

1. 委員の委嘱
2. 開会あいさつ（川口龍雄宇治市副市長）
3. 委員の紹介
4. 委員会設置要項の確認
5. 会長選出
6. 会長あいさつ
7. 委員会の公開に関する要項の承認
8. (仮)宇治市未来につなぐ都市づくりプランの検討について

（会議資料） 資料1 (仮)宇治市未来につなぐ都市づくりプラン検討委員会設置要項（案）

資料2 (仮)宇治市未来につなぐ都市づくりプラン検討委員会の公開に関する要項(案)

資料3 (仮)宇治市未来につなぐ都市づくりプラン第1回検討委員会資料

添付資料 宇治市の現状

### <会議概要>

#### 《1. 委員の委嘱》

- ・川口龍雄宇治市副市長より委嘱状の交付

#### 《2. 開会あいさつ》

- ・川口龍雄宇治市副市長より開会あいさつ

### 《3. 委員の紹介》

- ・事務局より委員の紹介

### 《4. 委員会設置要項の確認》

- ・事務局にて要項（案）の読み上げ
- ・出席委員にて内容を確認

### 《5. 委員長選出》

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員会設置要項に基づき、委員長を選出していただく。どなたかご推挙いただきたい。</li> </ul>
京都大学 経営管理研究部准教授 大庭 哲治氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立地適正化計画では、防災まちづくりの観点から防災指針の作成が義務付けられていることから、都市水害に精通している川池委員を推薦したい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川池委員はいかがか。</li> </ul>
京都大学防災研究所 教授 川池 健司氏 (以下、「川池会長」)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 謹んでお受けさせていただく。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川池委員から就任の了承をいただいたが、委員の皆さまはいかがか。</li> </ul>
委員一同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〈承認〉</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川池委員を会長に選出する。</li> <li>・ 続いて副会長の選出に移る。川池会長にご指名をお願いしたい。</li> </ul>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学識経験者であり、他市町の都市計画、立地適正化計画に精通する大庭委員を副会長に指名したい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川池委員から指名があったが、委員の皆さまはいかがか。</li> </ul>
委員一同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〈承認〉（以下、「大庭副会長」）</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは正副会長の選出を終了する。</li> </ul>

### 《6. 会長あいさつ》

川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私自身が元宇治市民で、近鉄大久保駅周辺開発の評価委員を務めるなど、宇治市には少なからず縁があると思っている。都市計画は専門外だが、都市水害を専門としており、そういった面から委員会に貢献できればと考えている。至らない点はあると思うが、委員の皆様にサポートいただきながら進めさせていただきたい。</li> </ul>
------	---

### 《7. 委員会の公開に関する要項の承認》

川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局にて公開に関する要項案について説明を。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〈要項案の説明〉</li> </ul>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この案に賛成の方は挙手願います。</li> </ul>

委員一同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〈賛成〉</li> </ul>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは公開に関する要項案が承認されたので、要項に基づきこの委員会を公開させていただく。</li> </ul>

《休 憩》

《8. (仮)宇治市未来につなぐ都市づくりプランの検討について》

川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (仮)宇治市未来につなぐ都市づくりプランの検討について、事務局にて説明を。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〈資料説明〉</li> </ul>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今の説明に関し、ご意見・ご質問等あれば。</li> </ul>
京都大学防災研究所 教授 多々納 裕一氏 (以下、「多々納委員」)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員会の位置づけを今一度確認したい。「立地適正化計画＝未来につなぐ都市づくりプラン」なのか、それとも立地適正化計画以上のものを含む計画が未来につなぐ都市づくりプランなのか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本は立地適正化計画であり、市民に分かりやすいものとしたい故に名前を変えている。</li> <li>・ 立地適正化計画も色々なものがあると考えているが、宇治市の特徴を生かし、立地適正化計画以上のものが必要であればそこは考えたい。</li> </ul>
多々納委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1回目でまちづくりの方針案がなぜ出てくるのか。都市計画マスタープランをまとめたものなのか？これを案として議論するのか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市計画マスタープランを踏まえて、課題を分類分けしたものと理解いただきたい。</li> </ul>
多々納委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宇治市においては、防災指針の位置づけが立地適正化計画の肝になると考えている。</li> <li>・ 誘導区域と災害リスクの関係について、外的要因があるか？例えばイエローゾーンを誘導区域に指定するのは難しいとか、指定するために何かが必要なのか？</li> <li>・ 最終的に落としどころをどこに持っていきたいのか。その辺りを事務局に再整理いただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巨椋池周辺、宇治川右岸での水害に対する市民の関心が高い。その辺りは防災指針をテーマに改めてご意見をいただく場を設ける予定である。</li> </ul>
多々納委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災指針は防災に対する対応を決めるだけで、誘導区域の設定時に気にする必要は無いと理解して良いのか？</li> <li>・ 特に区域設定に規制がかかる訳では無い？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誘導区域の設定は過去の被災状況等を踏まえて考える必要がある。</li> <li>・ 一方で、巨椋池周辺が浸水想定区域である小倉地域においては、そういった中でまちづくりの在り方という視点でご意見を伺いたいと考えている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レッドゾーンは規制を掛けなければならないが、イエローゾーン全域を規制する訳にはいかない。そういったところをどこまで配慮して計画を立てていくかという部分を今後、検討していく必要がある。</li> </ul>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 私は P15 が現状の問題点を四つの柱をもとに整理されたもので、これに過不足がないのかを議論する場という理解をしている。</li> </ul>
大庭副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• P15 は広く課題を整理している。ただ、課題にも緊急性や重要性など強弱がある。</li> <li>• 直近の状況が十分に反映されていないデータもあるが、交通や防災は緊急性の高い課題と考える。</li> <li>• 本日の資料は全体像を把握する上では有効であるが、今後、具体的な検討には課題の強弱、優先度を踏まえたポイントの整理が必要ではないか。</li> </ul>
多々納委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• P15 はもう少し時間をとって議論をした方が良いのではないか。</li> <li>• 都市計画マスタープラン、立地適正化計画は総合計画の下にあるとなっているが、都市計画はもっと長いスパンでみる必要があり、立地適正化計画は都市計画マスタープランと同様に長いスパンで考えるべきものである。</li> <li>• どういうまちを目指すのか。そういった議論をあわせて次回以降できればと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• いただいたご意見を踏まえ、次回はポイント・テーマを絞って整理し、ご意見をいただくようにしたい。</li> </ul>
大庭副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 検討をしていく上で、まず現状把握をすることが大事であり、今回はそういうテーマだと理解している。</li> <li>• 現時点では P15 と整理いただいているが、今後、課題の強弱や、市民意向等を踏まえ議論が必要と思う。</li> <li>• また、この計画は概ね 20 年後を視野に入れたものであり、中長期、短期といった視点でも整理をして計画に反映していく必要がある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 総合計画では 4 年毎に中期計画を定めており、その中で短期的に取り組む事業は見えてくると考えている。</li> <li>• 一方、10～20 年といった中長期的には都市計画マスタープランや立地適正化計画などのサイクルになってくるため、その辺りを反映した計画としていきたい。</li> </ul>
宇治市民間保育連盟 会長 杉本 一久氏 (以下、「杉本委員」)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子育て世帯の意見をという事で委員に選出されていると思うので、その立場から意見を申し上げる。</li> <li>• 子どもたちがまちづくりに参画する機会が少なく、宇治らしさ、ふるさとの愛着を育む取組が必要なのではと思う。</li> <li>• P15 の「多様な暮らしに対応・・・」の⑨の書きぶりが気になる。“子育て世代だけでなく・・・”だと子育て世代はもう問題ないような印象を受けるので表現の再考をお願いしたい。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>「子育てにやさしいまち」を打ち出して、全庁的に取り組みを進めているところである。</li> <li>一方で子育て世代とあらゆる世代を並列で記した表現についてはもう少し趣旨や思いが分かりやすいよう修正する。</li> </ul>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然減、社会減のなかで、いかに宇治の魅力を高め、定住人口を確保、維持していくかが大切。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画だけで対応することは難しく、様々な分野の計画と連携し、1つのアクションプランとしてまとめていきたい。</li> </ul>
大庭副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広く、分野を網羅して課題を把握するのも大事だが、防災や交通の分野から区域を設定するのが大事。</li> <li>宇治市の地域ごとの情報をもう少し深掘していく必要がある。</li> <li>それは次回以降に出てくるということで良いのではないか。</li> </ul>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画で誘導区域（居住・都市機能）を設定した後、具体的にどのような形で誘導は進んでいくのか？</li> <li>現状の宇治市で考えている、立地適正化計画で集中を加速させる拠点というのはあるのか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住誘導区域外での開発は宇治市に届出が必要となるので、居住してはいけない訳ではないが、従来に比べ少し手間がかかることになる。</li> <li>都市機能誘導区域は、まちづくりに即した都市機能の誘導の際にはインセンティブとなる制度も活用しながら誘導していく。</li> <li>主要な鉄道駅周辺等が都市計画マスタープランの中で拠点に位置づけられており、考え方が示されている。本計画でもその考え方がベースになる。</li> </ul>
多々納委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>もう一度、言わせてもらうが、今回策定する計画は立地適正化計画なのか、それ以外の内容を含むものなのか。</li> <li>立地適正化計画であるという事であれば、誘導区域や防災指針等だけを考えれば良い。</li> <li>少し幅広にまちづくりとして考えないといけないなら、例えば、関連計画でこういった事業が進んでいるのか、国の制度で使える事業があるのか、といったチェックも必要。</li> <li>立地適正化計画の作成の手引きに補助メニュー等が掲載されており、今後、小倉駅周辺まちづくりでも使えるものがあると思う。どういったものが使えるかどうかの整理もしてもらえると良い。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>小倉駅周辺のまちづくりなど実際に動いているものはあるので、そういった内容についても計画に入れていきたいと考えている。</li> </ul>
多々納委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの事務局の説明を聞くと、やはり「立地適正化計画+α」の計画のように思う。</li> <li>策定した計画は総合計画や他の計画へのフィードバックがあるのか？</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画マスタープランや立地適正化計画が最も長い計画期間なので、連携を図りながら並行して進むものである。</li> <li>他の計画がそれぞれの計画を見直しする際に、必要に応じて整合を図っていくものはあると思う。</li> </ul>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>P15の資料は、今後どうなっていくのか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の4項目はあくまで現状と課題をカテゴリごとに整理したものであり、今回のご意見を踏まえ、事務局で改めてまとめた方針案を次回以降示していきたい。</li> </ul>
大庭副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>本委員会の（仮称）はいつとれるのか？</li> <li>個人的には、もうこの名称だと決めてしまったら良い気がするが。</li> </ul>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>（案）として進めて、完成した時点で（案）が取れるということもよくある。</li> <li>計画名についても、本検討委員会で議論するということか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政側が市民にわかりやすいプラン名として考えたものである。今後、検討を進め、まちづくりの方向性が見えてきた段階で決めていきたい。</li> </ul>
多々納委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画で不足するというのであれば、何が不足するのか、それを説明された方が良い。</li> <li>「立地適正化計画+α」なのかを、どこかの段階ではっきりさせるため、ここで議論する場を設けた方が良い。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の考え方を改めて整理し、次回お示ししたい。</li> </ul>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>立地適正化計画の策定は義務ではないという理解で良いか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>義務ではないが、市としてまちづくりに必要と考えている。</li> <li>.</li> </ul>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料では立地適正化計画のフォーマットが示されており、現状はフォーマットに沿って進めているのであれば、それは立地適正化計画なのではないか？</li> </ul>
多々納委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状把握と課題整理はフォーマットだけで言えば無くても良い。</li> <li>恐らく、フォーマットだけでは不足するので、もっと色々な議論をして欲しいのだろうと理解する。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベースは立地適正化計画としてきちりと作り、枠に収まらない独自の部分についても市民にわかりやすく説明できるものにしたいと考えている。</li> </ul>
多々納委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育施設や公共交通など、誘導区域に欲しい機能をしっかり書き込もうと思ったら、そういった部署としっかり調整をして反映しなければならない。そこを大事だと考えているから、この計画名にしたいということではないか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘のとおりである。</li> </ul>
川池会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>次回は具体的な区域設定の手前くらいを議論するのか？</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>• 基本的な考え方を整理してから具体の議論に入ると考えている。</li><li>• 本日いただいた宿題を整理した上で、次に進めることができるのであれば、具体的な議論に入っていきたい。</li></ul>
-----	---